

首都圏高校生集会実行委員会・劇

A	あー、今月もまた稼げなかった。新しいバイトはじめようかな。
B	店長、シフトパンパンだ～って、なげいていたしね。 てか、そんなにバイト厳しいの？
A	給食やめたいから、その分軽くなるはずだったんだけど、そうもいかなくて。
B	でも授業料分もあるから、そんな負担かからないんじゃない？
A	ああ…、授業料無償化ね。あれ、本当に授業料だけなんだね。
B	自分には甘くゆるく、国民には厳しい人達が考えることって、予想できる。 良いところ取りみたいなさ、おいしくないところいらないって捨てる感じ。
A	つっこむとこ、そこ？お父さんになげいたら、 「今、みんな耐えてるんだ」って言われてさ。
B	それも一理あるよね。わざと明るい話して、現実から逃げたくなる。
A	それに、授業料があった頃は、減免制度ってのがあって、 授業料以外にPTA会費や生徒会会費とか含めた、 団体費ってのも一緒に減免されていたんだけど…。
B	そうなんだよ。授業料なくなったけど、団体費の支払い請求が来た。 団体費の減免制度とかないのかな？
A	うちの学校、ないみたい。だから逆に払う額、増えて驚いたよ。 それに、無償化見直しだって。また授業料を取られる。 利権からんでいるみたい…。
B	うわ～…。重いわ。高校生が話すべき内容じゃ無いわ。 私たち、国や県に見捨てられている感じ…。
C	ちょっと！そういう話はやめてくれる？ みんな苦しいのよ。私の家も家計が苦しい。国や県も赤字財政っていうし…。
D	そうだよ。 今は特に東北震災や原発災害の影響があるから、やめてほしいんだよね。
C	…まあ、とりあえず働きなさいよ。 頑張ればその分返ってくるわ。 それにバイトだってダブルワークしている子なんて、たくさんいるわよ。
D	そう。私だってダブルワークしている。 きついけど、それなりに稼げているし。 あんた達、頑張りが足りないんじゃない？

A	うち、父子家庭だし、普通の家庭より倍ぐらい稼がないといけないんだ。もちろんダブルワークしてる。学費と生活費稼ぐために頑張ってるつもりだよ。
C	なら、足りるはずでしょう。 足りないのは遊んでたりするからじゃないの？
B	ちょっと待って！彼女、遊んでなんかないよ！…。 ってか、誘うのひかえていたし…。
A	え！？そうだったの？
B	前々から、すこしは生活、大変なんだろうなって …感じていたから…誘いづらくて…。
D	父子家庭って、母子家庭よりはいいでしょ？。父親は大黒柱だし。 それなのに「今月、ピンチだぁ〜」とか、そういうこと多くない？
C	あのさぁ〜重苦しい話しして、自分達の首しめていない？。 私達も巻きぞえにしないで！！
E	まってえ〜、グチぐらい聞いてあげたっていいじゃない。 同級生でしょ？もっと優しくしてあげてもいいんじゃない？
D	でも、苦しいのはみんな一緒よ。
E	授業料以外の学費ね。教科書代とか教材費とか、 あれって思うときに支払い請求が来る。 それも学校側で、数ヶ月まとめて払ってとってきている。 これって結構きついよね。
B	そう。確かに1ヶ月後となら何とか払えるっていう人多い。 まとめてはきついよね。
A	父子家庭には、母子家庭に出るような援助が少ないんだ。 同じ片親なのになって思ってしまう。
C	それは、父親のほうが財力あるでしょ？ それに数ヶ月ごとの支払いならば、貯めとけばいいじゃない。 どうせパチンコなんかで消えてるんじゃないの？
A	うちの父は、かけ事嫌いなもの。 それに今は給料も減らされ、夜遅くまで働いている。 みんなが思っているほどお金はないの。
E	「貯めれば」とか「頑張れば」とみんな言うけど、生活があるんだし、 なかなかそうできないのが現状じゃないかな…。
B	そう考えると、あなたみたいな家庭って大変なんだねえ〜。 そこまで知らなかった…。

D	まあ…そういう家庭も身近にあったってことはわかったわ
A	少しでも理解してもらえると嬉しい。 一時期、教育費無償化って流れが加速して、それなりに無償化が実現したけど、でも、授業料だけで正直がっかりしたのが本音。
E	わかる、それ、「無償化になったから、いいわね、学校で支払うもの無くなって」と言われたりするんでしょう。誤解もいいとこ…
B	そういうこと言う人は、授業料以外は払って来なかったのか！？ と聞いてみたいよ。
E	無償化って言葉がネックなのかも知れない。 学費無償化と言われたりしていたから、勘違いしたのかも知れないよ。
D	私も思った。テレビやラジオ・新聞とかで、「無償」って宣伝したでしょう。 マスコミって影響力すごい。
C	でも、大体、授業料無償化自体反対よ。 払うものは払う！あたりまえじゃない？ 自分で選んで学校に来て、学ばしてもらえるんだから、ありがたく思わなきゃ…。
A	それって、「自分のために、お金かける」という考え方につながらない？ 勉強って自分のためだけにするものなのかな…。
B	そう、「未来に投資する」という考え方はダメなのかな？ 教育の成果は、結果的に社会全体に還元されていくんでしょ。
A	お金なくて、学びたくても学べない。これって社会の進歩から遅れている。 かりにも、日本は先進国でしょう。先進国が遅れているというのも…。
D	お金の問題になると、どこにお金を使うか、優先順位みたいなものがある。 まあ…今は状況が状況だし…
E	まって、こんな時だからこそ、「学費無償化」は必要でしょう。 被災地の高校生、お金がないのに 「教育にお金を払いなさい」という状況があるでしょう。
B	それに、今は、就職の条件として「高校卒業」をうたう企業がほとんど…。
C	それは当たり前よ。学力はそれなりに必要なんだから。
A	でもお金があるかないかで変わってしまう。 不況だから公立を目指す子が多く、落ちる子がたくさんいる。 それが定時制や通信制に流れて…。 またやむなく私立にいかなくてはならない子もいる。
D	そうか…。私立って「お金持ち」というイメージだったから、それって意外…。

B	公立と私立、全日制・定時制・通信制とは関係なしに、同じ高校生の中にはお金に困っている人がいるってことだね。
C	定時制って、「働きながら学ぶ学校」と言われてきたじゃない。そう言う所でしょ？全日制とは違うんだから。
D	よく考えてみると、今は大学卒業しても、かなりの就職難。大学に行って奨学金を借りたって、返すこともできなくなる。
C	だからさあ〜、今はそれどころじゃないでしょ？ ともかくも今ある現状のなかで、努力して頑張るのよ。
A	それ、東北の被災地の高校生に言える？ それと同じで、ずっと前から家庭が苦しいという子はあるの。
B	環境が違ってても、今の社会は「お金がないと」学校に通えない状況があるわけね。 それでいて、「高校卒業」でないと就職も満足に保障されない。
D	時代が大きく変わっている？さっきの話しにつながるけど、 「良い人材」というのは誰のため？ 「学力が重視」っていうけど、その学力は誰に使われるの？ ともかく学力が重視されているのは世の中の流れね。
E	高卒認定試験だって、お金がかかる。やっぱり学費無償化は必要だよ。 旅行積立金払えなくて、修学旅行に行けなかったり、 部活やりたいけど、部費が払えず道具も買えないからやれない子もいる。
D	学費無償化と言うのは、教育費無償化と同じ意味でしょ。
C	みんなして、何なの？それは頑張り次第でしょう？
A	頑張りにも限度があるんじゃないか…。お金の心配しながら学校通うのはやっぱり変だし、バイトばかりで友だちと遊べないのはつらい…。
D	私もつらい思いしてきたから、つい同じ境遇の人に「頑張れ」と言っちゃう。 でもすでに頑張ってたし、これ以上頑張ったら、倒れちゃうよ…。
B	せめて…、給付型の奨学金がほしい。今のは借金でしょう？ ローカにあるポスター、「必ず返すもの」と書いてある。
E	あれ見ると、借りるのこわくなるよね。卒業後がこわい。
A	前から思っていたんだけど、 高校生や大学生に借金をさせるのはどうなんだろう…。
D	通学費もすごく負担だし…、奨学金、 返したいのに返せなくなってしまっても、非難されちゃう。
C	それだけの責任を持ってってことでしょう。
B	もちろん責任は大事。だけど、なんか違うような気がする。

A	少しでも、苦しむ高校生が減ってほしいし、 同じ高校生に、学費で苦勞している高校生が多いことを知ってほしい。
D	そうね、こうして色々話していると、 学費のことについて知らないことだらけだった。
E	学費で悩んでいる友だちや、家庭で経済的に苦しんでいる友だち、 身近にいると思うの。そのこと言えない人多いんじゃないかな。
B	そう言う人に、大丈夫、学費で悩まないでって、言ってあげたい。
C	ちょっと…、この雰囲気、何なの？
A	え？学費無償化は重要って言うか、必要だっていう話しただけど？
C	私はそうは思わないわ。つらいときを乗り越えてこそ、強くなるの。
B	ずっと耐えろってこと？バイトだらけの生活になれろってこと？
D	つらすぎだよ。未来の高校生の姿って違うと思う。
A	落ち着いて勉強したいよ。
E	だから学費無償化にしてほしい。給付型の奨学金からでもいいから。
B	まず、もう一回手をさしのべてほしい。
D	そこまでは長い道のりかな。反対する人はいるだろうし。
E	そう言う人がいてこそ、どう理解してもらって考える。 必ずしもわかってもらえる人ばかりじゃないから。
A	それなりの考えが必要なんだね。要求するだけじゃなくて。
B	これから調べてみない？自分達でできることから始めよ！
E	そうだね、アンケートとかは？
D	他校の友だちに頼んだりしたら、もっと広がるよね？
A	いいね。
B	じゃあ、やってみましょう！
C	…なあに～、この流れ、ついていけない。
E	いつか、あなたとも一緒にやれたらいいな～。
D	まずはそれが目標ね。
C	え！？ちょっとやめてよ。やらないんだからね！

この劇は 首都圏高校生集会実行委員会の実行委員の生徒が考え実行委員会の運営会議で読み合わせして完成させたものです。